

(社) 日本原子力学会
第80回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 26 年 8 月 8 日 (金) 13:30~17:10
場 所 日本原子力学会 事務局会議室
出席者 大場委員長、宮越副委員長、作田幹事、内山委員、宇奈手委員、大鷹委員、
近藤委員、辻委員、中野委員、名倉委員、林委員、福家委員、三村委員
高橋理事 (14名：委員名簿順)
オブザーバー：北村氏、宮澤氏

配布資料

- 資料80-1 第79回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料80-2(1) 2014年秋の大会企画セッション講演資料 (案)
- 資料80-2(2) 倫理規程の改定について (報告)
- 資料80-3 倫理規程改定案に関するコメント検討シート (最終公開用案)
- 資料80-4(1) 倫理委員会委員への立候補のお願い (宮澤様)
- 資料80-4(2) 倫理委員会委員への立候補のお願い (奈良林様)
- 資料80-5(1) 倫理委員会事例集方針案
- 資料80-5(2) 解説
- 資料80-6 倫理委員会活動の役割分担 (実績・予定)
- 資料80-7(1) ポジションステートメントの現状と平成26年度WG活動計画について

議事

1. 資料 80-1 により、前回議事要旨 (案) を確認し、事例集の作成方針に「また、事例の提供だけでなく判断や行動の幹となる考え方を併せて示すこととした。」を追記する他、わかりやすさのために若干の修正を行うことと了承された。
2. 資料 80-2(1)(2)により、2014 年秋の大会企画セッション講演予稿および関連の内容について、宮越副委員長および大場委員長から説明があった。講演資料にとどまらず、倫理全般についての幅広い意見が出された。個人の能力を生かすためには組織の取り組み(マネジメント)の支援が必要。マネジメント・システムは仕組みであり、それを守らせるために人を育てることが重要。すべてを仕組みに落とすことはできないので、不適合→活動→仕組みへの反映のサイクルを継続して回すことが大切。技術的能力以外にも、ノンテクニカルスキルがないといけない。ノウハウだけでなく、ノウホワイも重要。判断した時点での課題と条件を明確にしておくことが重要。結果の良し悪しだけで判断してはいけない。講演者の宮越副委員長は、講演資料を見直すとともに、各委員は資料に対するコメントをメールすることとした。
3. 資料 80-3 により、倫理規程改定案へのご意見者への回答案について、大場委員長から説明があった。No.3 のご意見者に対する回答案のうち、「最終案」は「最終的には」と修正することと了承された。作田幹事は、回答結果をホームページに掲載することとした。
4. 資料80-4(1)(2)により、宮澤氏と奈良林氏の倫理委員立候補のお願いについて、大場委員長から説明があり了承された。9月26日開催予定の第3回理事会において高橋理事から報告することとした。資料は、作田幹事から高橋理事に送付することとした。

5. 資料80-5(1)(2)により、事例集作成の方針（案）について、宇奈手委員および大場委員長から説明があった。以下のような意見が出された。教育として使いやすいもの、読み物としても面白いものを作った方がよい。良好事例を集めること、また内容を精査することは大変であるが、しっかりと議論してもらうためには、確実な情報に基づく必要がある。今後、詳細に検討を進めるため、タスクチームを発足させることとした。メンバーは、大場委員長、宇奈手・近藤・辻・福家・三村・宮澤委員の7名とした。次回打合せは、8月21日とした。
6. 資料80-6により、企画セッションおよび倫理研究会の実績と予定について、作田幹事から説明があった。今後の活動については、以下の分担とすることとした。活動行事については、担当委員が原則として学会誌に記事を投稿することを確認した。2014年秋の大会については、近藤委員が写真撮影、その他の出席委員は議事メモの作成他について分担協力することとした。活動行事の内容については、開催地に関連したものを取り上げることにした。

活動行事	分担
【企画セッション】	
2015年春の年会（茨城大学）	福家、三村
2015年秋の大会（静岡大学）	中野、宮澤
2016年春の年会（東北大学）	内山、大鷹
2016年秋の大会（未定）	林、名倉
【倫理研究会】	
2014年	奈良林、宇奈手
2015年	辻、近藤
2016年	関村、宮越

7. その他
- (1) 資料 80-7(1)により、ポジションステートメント WG の活動について、大場委員長から説明があった。WGへは大場委員長が原則出席することとするが、都合がつかない場合は他の委員が代理出席することとした。
- (2) 大鷹委員および近藤委員の委員就任について、第2回理事会(7月31日開催)において承認されたことの報告が作田幹事からあった。
8. 次回以降の倫理委員会の日程は、H26年9月19日(金)13:00～(日本原子力発電殿会議室)、11月7日(金)13:30～(学会事務局会議室)、H27年1月9日(金)13:30～(学会事務局会議室)とした。

以上